

公的施設等運営評価調書
(令和 4 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度 令和 4 年度
状況調査基準年月日 令和5年4月1日

施設名	兵庫楽農生活センター	施設所管部課室	農林水産部 総合農政課			
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	課長 (班長	杉本 英久 中野 大輔)	内線	3927 (3934)

1 施設概要

設置目的	食と農に関する様々な体験、学習及び実践を通じて、自然と親しみ、自然と共に生きることを実感しながら、食と「農」を楽しむことができる生活(以下「楽農生活」という。)の実現に資する。					
設置根拠	条例名称 兵庫楽農生活センターの設置及び管理に関する条例 (平成18年3月24日 条例第 31 号)					
所在地等	所在地	神戸市西区神出町小束野30-17		設置年月日	平成 18 年 10 月 1 日 R 5 .4現在経過年数 16 年)	
	電話番号	078-965-2651		直近の大規模改修年月	平成 年 月 (R 5 .4現在経過年数 年)	
	HP・電子メール	https://hyogo-rakunou.com/				
敷地面積	敷地面積	145,076.05 m ²	所有者別 内訳	兵庫県	145,076.05 m ²	m ²
					m ²	その他 m ²
施設内容	延床面積	6,036.48 m ²				
	【各施設名とその概要】	交流館(レストラン棟、加工施設棟、管理研修棟)、学校管理棟、農産物直売所、きのこ館、ガラス温室、農場、果樹園、搾油・BDF製造施設、その他(コンポスト施設、ビニールハウス、農機具展示庫、駐車場 等)				
利用時間	9:00~17:00					
休館日	毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日					
利用料金	利用料金制度	導入済	料金体系	開園時刻から12時まで	13時から開園時刻まで	開園時刻から閉園時刻まで
	名称	研修室		研修室A	2,300円	3,900円
			研修室B	1,900円	3,200円	
			研修室C	1,000円	2,300円	
整備費	1,651,432 千円					
	当初 整備	(内訳)	施設建築費	1,301,364 千円		
			用地費	千円		
			備品費等	18,375 千円		
	大規模 改修	(内訳)	その他	千円		
			改修費	千円		
			備品費等	千円		
	施設 拡充	(内訳)	その他	千円		
			施設拡充等	331,693 千円		
備品費等			千円			
			その他	千円		
財源内訳		国庫	千円	起債	619,600 千円	
		特定	千円	一般	700,139 千円	
財源内訳		国庫	千円	起債	千円	
		特定	千円	一般	千円	
財源内訳		国庫	123,937 千円	起債	165,800 千円	
		特定	千円	一般	41,956 千円	
業務内容	<p>(1) 農作物の栽培、加工その他の食と農に関する体験の機会を提供し、体験学習の支援を行うこと。</p> <p>(2) 食と農に関する知識及び体験を普及し、並びに楽農生活に関する相談に応ずること。</p> <p>(3) 農作物の栽培、加工その他の食と農に関する技術の指導を行うこと。</p> <p>(4) 食と農に関する体験、学習及び実践のために施設を県民の利用に供すること。</p> <p>(5) 他の楽農生活に関する体験学習施設、兵庫県立農業大学校等との相互協力を行うこと。</p> <p>(6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務</p>					

2 運営体制

運営形態	指定管理者制度							
	指定管理者 指定内容	指定管理者名	公益社団法人ひょうご農林機構			指定の方法	特定の者を指定する施設	
		所在地	県内所在地	神戸市中央区下山手通5-7-18			特定の者を 指定する理由	高度な専門的知識の蓄積・活用等が 必要とされる施設
			主たる事務所	神戸市中央区下山手通5-7-18				
		指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日			履行保証保険の付保	していない	
		導入(予定)時期	平成18年10月1日 ~					
公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目				
職員数		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
	総 数	13 人	14 人	13 人	13 人	13 人		
	うち県外向	8 人	10 人	9 人	9 人	9 人		
	正 規	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人		
	その他	5 人	4 人	4 人	4 人	4 人		
組織図	<pre> graph TD A[兵庫楽農生活センター] --> B[センター長] B --> C[総務課] B --> D[楽農交流課] B --> E[楽農学校課] C --- C1[施設の維持管理、広報等] D --- D1[楽農交流事業の企画・実施] E --- E1[楽農学校事業の企画・実施] </pre>							

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位: 千円)

区 分	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
支 出	145,903	134,764	129,349	131,627	123,436	
人件費	49,548	42,305	42,040	41,655	42,060	
維持管理費	55,567	43,012	38,182	40,873	30,898	
事業運営費	40,788	49,447	49,127	49,099	50,478	
その他						
収 入(財源内訳)	145,903	134,764	129,349	131,627	123,436	
県 費	一般財源	133,462	119,109	114,656	117,324	107,256
	使用料収入					
	他(国庫・CSR等)	4,289	9,154	5,846	5,217	6,684
	計	137,751	128,263	120,502	122,541	113,940
指定管理者 等	利用料金	8,152	6,501	8,847	9,086	9,496
	自主事業					
	自主財源					
	計	8,152	6,501	8,847	9,086	9,496

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

〔R元年度: 8,258千円、R2年度: 8,461千円、3年度: 8,408千円、4年度: 8,331千円、5年度: 8,412千円〕

4 利用状況

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	152,087 人	128,849 人	48,156 人	63,777 人	93,773 人
対 30 年度比	100%	85%	32%	42%	62%

【主な施設の利用状況】

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
研修室					
利用者数	14,971 人	14,666 人	11,470 人	8,425 人	9,140 人
稼働率	23 %	22 %	23 %	18 %	29 %
地元利用率	68 %	77 %	69 %	94 %	55 %
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
該当なし			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指 標 名	目 標 [考 え 方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に関する指標	利用者数(累計)	3,100 千人 (ひょうご農林水産ビジョン2030での目標値 (R7:3,700千人) (毎年200千人))	2,371 千人 (2.8 千円)	2,435 千人 (2.0 千円)	2,529 千人 (1.4 千円)	81.6 %
サービス向上に関する指標	農作業体験等講座実施回数	279 回 前回指定管理3年(H30～R2)の平均値	208 回	232 回	214 回	76.7 %
効率的な運営に関する指標	利用者1人あたりの経費	1 千円 一人千円程度	2.8 千円	2.0 千円	1.4 千円	140.4 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	県が推進する「楽農生活」(日々の暮らしの中で食と「農」に親しみ、より人間らしく豊かに生きるためのライフスタイル)の拠点施設として、生きがい農業から新規就農まで幅広く「農」の大切さを学ぶ「楽農学校事業」に加え、地元農業者グループや民間企業等が参画・連携して「農」とのふれあいを進める「楽農交流事業」を実施しており、「楽農生活」を推進する上で引き続き設置する必要がある。
有効性	生きがい農業コース(市民農園等を楽しみたい人の基礎的な農業研修)や就農コース(新規就農希望者のための総合的な農業研修)など、県民それぞれのニーズに応じた幅広い学習や人材育成を支援する事業を展開しており、就農コースでは、受講生の8割以上が実際に就農するなど、高い有効性が認められる。
効率性	指定管理者である公益社団法人ひょうご農林機構は、センター開設前の平成15年度から先行事業として農作業体験等を実施するなど「楽農生活」の理念に精通しており、同機構を中心に、プロポーザルにより地元農業者グループや民間企業等が参画・連携し、各種体験講座や農産物直売所・レストラン等の「楽農交流事業」を実施することにより、効率的な運営を図っている。
民間・市町との役割分担	県が全国に先駆けて提唱する「楽農生活」の拠点施設として、他に例がないものである。また、指定管理者を中心に、地元農業者グループや民間企業等が参画・連携し、それぞれの知識や能力を活かした適切な役割分担のもと事業を展開している。
受益と負担の適正化	入園料は無料であるが、各種体験講座や生きがい農業コース・就農コース等の受講にあたっては受講料等を徴収しており、受益と負担の適正化が図られている。

8 指定管理者制度導入の効果（※ 直営施設については、導入しない理由）

導入効果等	指定管理者を中心に、地元農業者グループや民間企業等が施設運営に参画することにより、それぞれの知識や能力を活かした多様で魅力的な事業展開が可能となっている。
-------	---

9 施設の見直し方針

見直し方針	引き続き、公益社団法人ひょうご農林機構を指定管理者とし、効率的な運営とサービスの向上を図る。
見直しの理由・考え方	公益社団法人ひょうご農林機構は、就農コース等の実施に必要な農作物の栽培指導に係る高度な専門的技術を有している。また、各種体験講座等の実施に不可欠な地元農業者グループや民間企業等と円滑な調整や連携ができる信頼関係が構築されている。

公的施設等運営評価調書
(令和 4 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度 令和 4 年度
状況調査基準年月日 令和5年4月1日

施設名	兵庫県立フラワーセンター	施設所管部課室	農林水産部			農産園芸課 課	
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	課長 主査	小野量就 水上 仁	内線	4062 (4066)	

1 施設概要

設置目的	県民の花に関する知識の普及及び栽培技術の向上を図るとともに、県民に憩いの広場を提供する。								
設置根拠	条例名称 兵庫県立フラワーセンターの設置及び管理に関する条例 (昭和51年12月23日 条例第 52 号)								
所在地等	所在地	加西市豊倉町飯森1282-1			設置年月日	昭和 51 年 4 月 25 日 (R 5 .4現在経過年数 48 年)			
	電話番号	079-47-1182			直近の大規模改修年月	年 月 (R 5 .4現在経過年数 99 年)			
	HP・電子メール	https://flowercenter.jp/							
敷地面積	敷地面積	461,226.99 m ²	所有者別 内訳	県	446,790.99 m ²	加西市	13,436.00 m ²		
				個人	1,000.00 m ²	その他	m ²		
施設内容	延床面積 7,956.65 m ²								
	【各施設名とその概要】 本館、温室(大・中・小温室、L字型展示温室)、育成温室、レストハウス、 花売店、花の展示ホール、駐車場、中央花壇、池辺の花壇、ばら園、 しゃくなげ園、つばき園、いこいの森、芝生広場 等								
利用時間	午前9時～午後5時(入園は午後4時まで)、サマーイルミネーション:午前9時～午後9時、花と光のクリスマス:午前9時～午後8時、お正月特別開園:午前9時～午後4時								
休館日	毎週水曜日(水曜が祝日の場合は翌日)、12月28日～1月1日								
利用料金	利用料金制度	導入済	料金体系	入園料: 大人 500円、障害者 100円、70歳以上 250円、高校生以下無料					
	名称	入園料							
整備費	5,888,222 千円								
	(内訳)	当初 整備	施設建築費	2,235,776 千円		財源内訳			
			用地費	1,856,195 千円					
			備品費等	9,532 千円		国庫	19,325 千円	起債	1,012,000 千円
			その他	千円		特定	2,939,577 千円	一般	130,601 千円
	大規模 改修		改修費	1,757,379 千円		財源内訳			
			備品費等	20,540 千円					
			その他	2,243 千円		国庫	566,506 千円	起債	411,813 千円
	施設 拡充		施設拡充等	6,557 千円		財源内訳			
			備品費等	千円					
その他			千円		国庫	千円	起債	千円	
					特定	6,557 千円	一般	千円	
業務内容	<p>(1)花を栽培し、及び展示すること。 (2)花に関する知識の普及及び栽培技術の指導を行なうこと。 (3)花に関する相談に応じること。 (4)花に関する資料を収集し、保管し、及び展示し、並びにこれを県民の利用に供すること。 (5)花に関する講習会、研修会、展示会等のためにフラワーセンターの施設を県民の利用に供すること。 (6)各前号に掲げるもののほか、フラワーセンターの目的を達成するために必要な業務。</p>								

2 運営体制

運営形態		指定管理者制度				
		指定管理者名	(公財)兵庫県園芸・公園協会		指定の方法	特定の者を指定する施設
指定管理者 指定内容	所在地	県内所在地	明石市明石公園1番27号		特定の者を指定する理由	高度な専門的知識の蓄積・活用等が必要とされる施設
		主たる事務所				
		指定管理期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保	していない
		導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~			
	公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目	
職員数		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	総 数	32 人	32 人	29 人	30 人	30 人
	うち県外向	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	正 規	15 人	15 人	15 人	15 人	15 人
	その他	17 人	17 人	14 人	15 人	15 人
組織図	<pre> graph TD Director[園長 常勤嘱託] --- Advisor[参事 常勤嘱託] Advisor --- Dept1[業務課長 1] Advisor --- Dept2[企画誘客課長 1] Advisor --- Dept3[花づくり事業課長 2] Dept1 --- Staff1[職員 2] Staff1 --- Part1[嘱託 6] Dept2 --- Staff2[職員 2] Staff2 --- Part2[嘱託 1] Dept3 --- Staff3[職員 7] Staff3 --- Part3[嘱託 6] </pre>					

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区 分	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
支 出	275,415	261,991	322,299	252,746	280,164	
人件費	175,137	172,922	214,189	165,260	173,710	
維持管理費	11,326	11,767	19,576	23,161	20,658	
事業運営費	76,487	67,136	86,534	62,125	84,176	
その他	12,465	10,166	2,000	2,200	1,620	
収 入(財源内訳)	275,415	261,991	322,299	260,718	279,042	
県 費	一般財源					
	使用料収入	9	9	2	11	2
	他(国庫・CSR等)	229,889	231,445	230,951	208,644	188,818
	計	229,898	231,454	230,953	208,655	188,820
指定管理者等	利用料金	45,517	30,537	91,346	52,063	90,222
	自主事業					
	自主財源	0				
	計	45,517	30,537	91,346	52,063	90,222

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	236,106 人	227,161 人	151,106 人	190,970 人	234,300 人
対 30 年度比	100.0	96.2	64.0	80.9	99.2

【主な施設の利用状況】

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%
大ホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
姫路手柄山植物園	姫路市	姫路市	昭和 55 年	展示大温室、展示小温室、育成温室
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指 標 名	目 標 [考 え 方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に関する指標	入園者数	250,000 { 指定時の事業計画書 }	151,106 (1.7 千円)	190,970 (1.7 千円)	234,300 (1.1 千円)	93.7 %
サービス向上に関する指標	展示イベント開催回数	70 { 指定時の事業計画書 }	62	70	84	120.0 %
効率的な運営に関する指標	利用者1人当たり維持運営経費(円) ※人件費除く	428 { 指定時の事業計画書 }	589	566	364	85.0 %
その他		{ }				%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、地元加西市の「じば産物産展」の再開や「ロハスパーク」等持ち込みイベントの誘致に取り組んだことにより、入園者数はコロナ前(H30年度)の水準まで回復した。</p> <p>花と緑の地域づくりを目指す県民運動への支援をはじめ、幅広い県民に対する花と緑への理解促進や園芸教室の開催や花づくりボランティアの活動、県産花きPRの場場を提供し、花に関する知識の普及を図るとする設置目的を果たしており、引き続き設置する必要がある。</p>
有効性	<p>センターが実施した来園者向けアンケート(令和4年11月実施)、回答者の8割以上が施設全体について「満足」と回答しており、県民への憩いの場の提供及び花に関する知識の普及に寄与している。</p>
効率性	<p>複数の県立公園や集客施設の管理運営実績を有する事業者((公財)兵庫県園芸・公園協会)を指定管理者としており、これまでに蓄積されたノウハウをもとに、観賞用花きの適切な管理、使用資材の節減、ボランティアと連携した植栽管理など、効率的な運営を行なっている。</p>
民間・市町との役割分担	<p>県民の憩いの場所の提供及び県全体を対象とした花の知識普及、県内園芸産業の振興など、花と緑に関する民間・市町の活動と連携を図りつつ、県の施策を展開している。</p>
受益と負担の適正化	<p>入園者は入園料(大人:500円)を負担しており、入園者一人当たりの運営経費に占める県民負担分として妥当である。</p>

8 指定管理者制度導入の効果 (※ 直営施設については、導入しない理由)

導入効果等	<p>優れたノウハウをいかした花壇・温室の植栽展示や花と緑に関する集客イベントの充実により利用促進を図り、多様化する県民ニーズへの対応に積極的に取り組んでいる。</p>
-------	--

9 施設の見直し方針

見直し方針	<p>県政改革方針に基づき、指定管理者の公募を行うための検討を進める。</p>
見直しの理由・考え方	<p>公募を行うための課題解決を進め、できるだけ早期に指定管理者の公募を行う。ただし、公募までの間は従来通り同施設の維持運営において知識と経験の豊富な現指定管理者を継続する。</p>

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	兵庫県立公園あわじ花さじき	施設所管部課室	農林水産部			農産園芸 課	
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	副課長 (主任	藤本 保雄 西谷 萌	内線	4061 (4063)	

1 施設概要

設置目的	県民に花とふれあう憩いの場を提供し、花に関する知識の普及を図る							
設置根拠	条例名称 兵庫県立公園あわじ花さじきの設置及び管理に関する条例 (令和2年3月5日 条例第 1 号)							
所在地等	所在地	淡路市楠本2805-7			設置年月日 令和 2 年 3 月 5 日 (R 5 .4現在経過年数 3 年)			
	電話番号	0799-74-6426			直近の大規模改修年月 0 年 月 (R 5 .4現在経過年数 年)			
	HP・電子メール	https://awajihanasajiki.jp/						
敷地面積	敷地面積	150210.15 m ²	所有者別 内訳	淡路市	10,592.00 m ²	県	136,614.85 m ²	
				北淡路土地改良区	1807.00 m ²	農林水産省	1196.30 m ²	
施設内容	延床面積 1,151.14 m ² 【各施設名とその概要】 便益施設棟、プロパン庫・ゴミ置場							
利用時間	午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)							
休館日	12月29日～1月3日							
利用料金	利用料金制度	導入済	料金体系	長さ7メートル以上の自動車:1,600円、その他の自動車:200円				
	名称	駐車料						
整備費	1,976,679 千円							
	(内訳)	当初 整備	施設建築費	985,926 千円	財源内訳			
			用地費	974,615 千円				
			備品費等	千円				
			その他	千円				
	大規模 改修	改修費	千円	財源内訳				
		備品費等	千円	国庫	千円	起債	千円	
		その他	千円	特定	千円	一般	千円	
	施設 拡充	施設拡充等	16,138 千円	財源内訳				
		備品費等	千円	国庫	千円	起債	千円	
その他		千円	特定	千円	一般	千円		
業務内容	<p>(1) 花を植栽し、県民に花とふれあう場を提供すること。</p> <p>(2) 県民に花に関する知識の普及を行うこと。</p> <p>(3) 花に関する体験及び学習のために施設を県民の利用に供すること。</p> <p>(4) 前3号に掲げるもののほか、あわじ花さじきの目的を達成するために必要な業務</p>							

2 運営体制

運営形態	指定管理者制度						
	指定管理者 指定内容	指定管理者名	(公財)兵庫県園芸・公園協会			指定の方法	特定の者を指定する施設
		所在地	県内所在地	明石市明石公園1番27号		特定の者を 指定する理由	新規公募予定施設
		主たる事務所					
		指定管理期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日			履行保証保険の付保	していない
		導入(予定)時期	令和2年3月 ~				
公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目			
職員数		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
	総 数	0 人	15 人	15 人	15 人	15 人	
	うち県外向	人	1 人	1 人	1 人	1 人	
	正 規	人	1 人	1 人	1 人	1 人	
	その他	人	13 人	13 人	13 人	13 人	
組織図	<pre> graph LR A[統括責任者 (園長)] --- B[統括責任者補佐 (課長)] B --- C[業務責任者 (プロパー)] C --- D[管理運営・普及啓発・自主事業担当者] D --- E[維持管理担当者] </pre>						

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区 分	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
支 出	0	167,083	158,214	158,513	138,949	
人件費		73,706	59,984	54,264	50,792	
維持管理費		57,888	61,828	67,057	64,161	
事業運営費		28,048	30,288	31,755	18,840	
その他		7,441	6,114	5,437	5,156	
収 入(財源内訳)	0	167,083	158,222	158,716	138,960	
県 費	一般財源		131,000	118,901	111,932	95,000
	使用料収入					
	他(国庫・CSR等)					
	計	0	131,000	118,901	111,932	95,000
指定管理者 等	利用料金		36,083	39,321	46,784	43,960
	自主事業					
	自主財源	0				
	計	0	36,083	39,321	46,784	43,960

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	人	人	448,165 人	473,820 人	564,400 人
対 30 年度比	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【主な施設の利用状況】

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	4 年度
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%
大ホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
兵庫県立フラワーセンター	加西市	兵庫県	昭和 51 年	温室、花壇、広場等
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

指標名	目 標 [考え方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度	
設置目的に関する指標	入園者数 〔 R4事業計画書 〕	750,000 (0.4 千円)	448,165 (0.3 千円)	473,820 (0.3 千円)	564,400 (0.3 千円)	75.3 %
サービス向上に関する指標	園内店舗 (レストラン・直売所) 利用者数 〔 来園者総数の20% 〕	112,880	107,118	116,233	137,533	121.8 %
効率的な運営に関する指標	利用者1人当たり 維持運営経費(円) ※人件費除く 〔 指定時の事業計画書 〕	122	208	207	185	150.8 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	今年度は、コロナ禍による影響もありながら約56万人(前年度比119%増)の入園者となり、前年度を上回る結果となった。県民に花とふれあう憩いの場を提供し、花に関する知識の普及を図るとする設置目的を果たしており、引き続き設置する必要がある。
有効性	あわじ花さじきが実施した来園者向けアンケート(令和4年10月実施)の結果によると、約75%が「花を満喫できた」または「海と花畑の景色が良かった」と回答。海を望む斜面上という好立地を生かし、年間を通じて植栽を維持する運営がなされている当施設は、来園者への憩いの場の提供や花の啓発という施設の設置目的に対して非常に有効である。
効率性	複数の県立公園や集客施設の管理運営実績を有する事業者を指定管理者としており、これまでに蓄積されたノウハウをもとに、農業機械による効率的な植栽管理、使用資材の節減などにより、利用者1人当たりの経費は、昨年度と比べ11%削減された。
民間・市町との役割分担	明石海峡大橋を渡ってすぐの淡路島の玄関口に位置しており「淡路花祭」の開催趣旨である「淡路地域の活性化と花と緑あふれる公園島淡路の創造する」に沿った施設として、淡路島の観光や地域振興に大きく貢献している。
受益と負担の適正化	施設の使用料(駐車料金)は県内の類似施設と比較しても同水準の料金となっており、またその料金は施設の安定した運営を図るために妥当な金額である。

8 指定管理者制度導入の効果 (※ 直営施設については、導入しない理由)

導入効果等	TV・新聞等の各種マスコミ取材に対応したり、FacebookやInstagram等のSNSを有効活用するなど広報宣伝に力を入れ、幅広い世代へ認知度向上に努めた。(フォロワー数 約1,400人増)
-------	---

9 施設の見直し方針

見直し方針	県政改革方針に基づき、指定管理者の公募を行うための検討を進める。
見直しの理由・考え方	公募を行うための課題解決を進め、できるだけ早期に指定管理者の公募を行う。ただし、公募までの間は従来通り同施設の維持運営において知識と経験の豊富な現指定管理者を継続する。

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	県立但馬牧場公園	施設所管部課室	農林水産部		畜産 課	
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	課長 (主任	中家 一郎 松尾 大輝)	内線	(4088)

1 施設概要

設置目的	豊かな自然の中で、但馬牛の生産の振興を図るとともに、広く県民に動物とふれあうことのできる憩いの広場を提供することにより、地域間の交流を促進する。								
設置根拠	条例名称 兵庫県立但馬牧場公園の設置及び管理に関する条例 (平成6年3月29日 条例第 14 号)								
所在地等	所在地	美方郡新温泉町丹土1033		設置年月日	平成 6 年 10 月 日 (R 5 .4現在経過年数 29 年)				
	電話番号	0796-92-2641		直近の大規模改修年月	平成 30 年 3 月 (R 5 .4現在経過年数 5 年)				
	HP・電子メール	http://www.tajimabokujyo.jp/							
敷地面積	敷地面積	525327.00 m ²	所有者別 内訳	丹戸地区住民等 第3セクター	362,744 m ² 102,131 m ²	新温泉町 その他	60,452 m ² m ²		
	延床面積	2,437.00 m ²							
施設内容	<p>【各施設名とその概要】</p> <p>園地(放牧場(但馬牛の放牧)、花園) 広場(動物ふれあい広場、多目的芝生広場、イベントプラザ) ビジターハウス(農産物加工室、イベントホール、エントランスホール) 但馬牛博物館、大動物舎、小動物舎、堆肥舎、テニスコート、大型遊具 ※関連施設(スキー場、交流宿泊施設、レストラン、バーベキューハウス)(新温泉町の第三セクターが運営)</p>								
利用時間	9時から17時まで								
休館日	毎週木曜日(木曜日が休日の場合は翌日)								
利用料金	利用料金制度	導入済		料金体系	①【専用利用】9-12時:3,800円、13-17時:5,000円、9-17時:8,800円、13-21時:10,800円、9-21時:14,600円 【共同利用】1人1回につき大人150円、子供70円				
	名称	①農産物加工室②イベントホール			②9-12時:600円、13-17時:800円、9-17時:1,400円				
整備費	3,793,515 千円								
	(内訳)	当初 整備	施設建築費	3,218,285 千円		財源内訳			
			用地費	千円		国庫	千円	起債	2,800,000 千円
			備品費等	141,037 千円		特定	100,000 千円	一般	459,322 千円
			その他	千円					
	大規模 改修		改修費	332,795 千円		財源内訳			
			備品費等	千円		国庫	103,969 千円	起債	183,000 千円
			その他	4,620 千円		特定	千円	一般	50,446 千円
	施設 拡充		施設拡充等	96,778 千円		財源内訳			
備品費等			千円		国庫	45,941 千円	起債	45,941 千円	
その他			千円		特定	千円	一般	4,896 千円	
業務内容	<p>(1) 但馬牛等の動物を飼育し、及び放牧すること。 (2) 但馬牛の生産の振興に関する指導を行うこと。 (3) 動物とのふれあい、野外活動等のために施設を利用させること。 (4) 但馬牛に関する資料を収集し、保管し、及び展示し、並びにこれを利用させること。 (5) 但馬牛に関する講習会、研修会、展示会等の事業を行うこと。 (6) 但馬地域に関する資料の収集及び情報の提供を行うこと。 (7) 農産物の加工に関する指導を行うこと。 (8) 野外活動に関する指導を行うこと。 (9) 前各号に掲げるもののほか、牧場公園の目的を達成するために必要な業務</p>								

2 運営体制

運営形態		指定管理者制度					
		指定管理者名	新温泉町	指定の方法	特定の者を指定する施設		
指定管理者 指定内容	所在地	県内所在地	兵庫県美方郡新温泉町浜坂2673番地の1		特定の者を指定する理由	隣接施設との一体的な管理運営や近傍市町立施設との密接な連携により効果的な管理運営が図られる施設	
		主たる事務所					
		指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保	していない	
		導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~				
		公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目	
職員数		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		総数	14人	14人	15人	17人	17人
		うち県出向	2人	2人	2人	2人	2人
		正規	1人	1人	1人	1人	1人
		その他	11人	11人	12人	14人	14人
組織図		<pre> graph TD Mayor[新温泉町長] --- ParkDirector[園長] Mayor --- MuseumDirector[館長 (非常勤嘱託員)] ParkDirector --- SectionChief[課長] SectionChief --- ParkManager[公園管理係長] SectionChief --- BusinessManager[業務係長 (課長兼務)] SectionChief --- MuseumDirector2[但馬牛博物館 館長 (非常勤嘱託員)] ParkManager --- Office[事務所(会計年度任用職員)1] BusinessManager --- LargeAnimal[大動物(会計年度任用職員)3] BusinessManager --- SmallAnimal[小動物(会計年度任用職員)3] BusinessManager --- Agriculture[農産物加工(会計年度任用職員)1] BusinessManager --- Plants[植物(会計年度任用職員)1] BusinessManager --- Cleaning[園内清掃(会計年度任用職員)1] MuseumDirector2 --- DeputyDirector[副館長(会計年度任用職員)1] DeputyDirector --- MuseumManagement[博物館管理(会計年度任用職員)1] DeputyDirector --- Researcher[特任研究員(非常勤嘱託員)] </pre>					

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
支出	80,297	117,123	102,669	96,842	101,346	
人件費	42,720	56,756	61,696	60,158	59,426	
維持管理費	29,380	15,469	23,211	22,580	17,308	
事業運営費	4,045	28,091	3,838	6,154	6,148	
その他	4,152	16,807	13,924	7,950	18,464	
収入(財源内訳)	80,297	117,123	102,669	96,842	101,346	
県費	一般財源	69,458	76,516	84,995	74,912	76,059
	使用料収入	0	0	0	0	0
	他(国庫・CSR等)	10,540	40,520	8,562	10,087	12,544
	計	79,998	117,036	93,557	84,999	88,603
指定管理者等	利用料金	299	87	100	231	477
	自主事業	0	0	0	4,480	149
	自主財源	0	0	9,012	7,132	12,117
	計	299	87	9,112	11,843	12,743

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	163,490 人	143,330 人	97,060 人	150,540 人	157,440 人
対 30 年度比	100.0	87.7	59.4	92.1	96.3

【主な施設の利用状況】

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
農産物加工室					
利用者数	3,531 人	3,167 人	1,180 人	941 人	1,873 人
稼働率	44 %	41 %	49 %	35 %	43 %
地元利用率	18 %	24 %	28 %	23 %	41 %
イベントホール					
利用者数	1,202 人	1,314 人	533 人	519 人	944 人
稼働率	9 %	9 %	9 %	4 %	10 %
地元利用率	73 %	56 %	48 %	0 %	68 %

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
該当なし			年	
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指標名	目標 [考え方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に関する指標	総利用者数	134,627 { 前回指定管理3年の平均値 }	97,060 人 (1.2 千円)	150,540 (0.7 千円)	157,440 (0.6 千円)	116.9 %
サービス向上に関する指標	農産物加工施設での 農産物加工体験	223 { 前回指定管理3年の平均値 }	140.0 件	151.0 件	247 件	110.8 %
効率的な運営に関する指標	利用料金収入	239 { 前回指定管理3年の平均値 }	87 千円	100 千円	231 千円	96.7 %
その他						%

※ () 書きは、1単位当たりのコスト(算定式: 1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	「但馬牛増頭計画」を推進している本県の但馬牛生産基盤強化に向けた、但馬牛の放牧実証や畜産農家に対する講習会等の開催、但馬牛・神戸ビーフの需要拡大に向けた、但馬牛の歴史的資料の収集・展示等、畜産振興及び情報発信拠点として、全国で唯一の機能を持つ施設である。また、広く県民に動物とふれあうことのできる憩いの広場でもあり、但馬の主要な地域間交流の施設として必要である。
有効性	畜産農家に対し、効率的な畜産経営の手法や事例を提供するとともに、来園者への但馬牛のPRや、農産加工体験を通じた畜産への理解を深めるなど、畜産振興・情報発信の拠点としての機能を発揮しており、本県の畜産振興施策の推進に大きく寄与している。来園者は、地元美方郡や鳥取県から、GW、夏休みなどの行楽シーズンには神戸や大阪から訪れており、令和4年度のイベント開催時に実施した満足度調査では、約90%が大変満足・やや満足と回答するなど、特にファミリー層に対して憩いの広場としての機能を発揮している。
効率性	新温泉町を指定管理者に指定し、町の第三セクターが運営するレストラン、宿泊施設やスキーリフト等との一体的な運営を行うことにより、それぞれの施設の特長を効率的に組み合わせ、SNS・新聞等による広報、パンフレット・ポスターの配布、地域の観光協会等との連携など、PR活動を展開している。また、イベント参加者に対するアンケート結果から、ニーズを踏まえた様々なイベント(年間60回程度)を企画・実施するなど、効率的な運営を行っている。
民間・市町との役割分担	新温泉町を含む美方郡では古くから但馬牛を中心とした産業が培われ、但馬牛や地域の人の歴史的資料が数多く残っている。それらを収集・研究・展示することにより、本県の財産である但馬牛について県内外へのPRが図られている。また、但馬牛の増頭をはじめとする本県の畜産振興施策の拠点として、近隣農家と連携し効果的な運営が図られている。
受益と負担の適正化	農産物加工室利用料について、利用率の向上を図る観点から、平成16年度にそれまでの半額に見直したことにより、利用者数は増加した。より多くの来園者が農産加工を体験し、本県の畜産への理解を深めてもらうため、現行の額を継続することが適切である。

8 指定管理者制度導入の効果 (※ 直営施設については、導入しない理由)

導入効果等	指定管理者は園に隣接する場所にアパート牛舎や但馬牛の研修牛舎を整備するなど、指定管理者が中心となって但馬牛繁殖農家の後継者育成を行い、関係者が連携することで新規就農者の誘致に成功、県内のモデル事業として但馬牛の振興に寄与している。
-------	---

9 施設の見直し方針

見直し方針	但馬牛・神戸ビーフのPRによるブランド力向上と、「兵庫美方地域の但馬牛システム」の日本農業遺産認定及び、世界農業遺産への認定に向けた情報発信の拠点として、博物館運営を強化するとともに、平成6年の開園から30年を迎えるにあたり広く県民等に利用されるための公園機能についての活性化を図る。
見直しの理由・考え方	但馬牛を国内外へPRするための“但馬牛”や“但馬牛と人”が育んだ文化・歴史などの調査・研究、それらの情報発信機能を果たす施設として引き続き強化していく。また、施設の老朽化も進む中、但馬の主要な地域間交流の県立施設として中心的な役割を果たすため、来園者にとって安全かつ快適な公園利用に向けた施設管理、運営の合理化やサービスの向上が期待される。

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	兵庫県立国見の森公園	施設所管部課室	農林水産部 治山 課		
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	主幹 明神 繁 (職員 脇坂 ちなみ)	内線	(4219)

1 施設概要

設置目的	人々の生活と深く結びつき、多様な自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を育成し、豊かな緑の中で勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るとともに、県民に自然とのふれあいの場を提供する。					
設置根拠	条例名称 兵庫県立ふるさとの森公園の設置及び管理に関する条例 (平成15年7月1日 条例第 51 号)					
所在地等	所在地	宍粟市山崎町上比地374		設置年月日	平成 18 年 8 月 5 日	
	電話番号	0790-64-0923		(R 5.4現在経過年数)	17 年)	
	HP・電子メール	http://www.kuniminomori.jp/		直近の大規模改修年月	年 月	
敷地面積	敷地面積	0.00 m ²	所有者別 内訳	m ²	県	
				m ²	その他	
施設内容	延床面積 824.51 m ² 【各施設名とその概要】 交流館(展示ホール、研修室、調理室、事務室等)、学習館(学習室、待合室等)、森林学習軌道、展望台、教科書の森、花の谷、実りの森、ピオトープ、遊歩道					
利用時間	通年 9:00～17:00					
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)					
利用料金	利用料金制度	無料施設	料金体系			
	名称					
整備費	5,306,243 千円					
	(内訳) 当初整備	施設建築費	1,604,969 千円		財源内訳	
		用地費	3,687,925 千円			
		備品費等	13,349 千円			
		その他	千円			
	大規模改修	改修費	千円		財源内訳	
		備品費等	千円		国庫	千円
		その他	千円		特定	1,824,498 千円
	施設拡充	施設拡充等	千円		財源内訳	
		備品費等	千円		国庫	千円
その他		千円		特定	千円	
業務内容	(1) 勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、森公園の施設をその利用に供すること (2) 県民に自然とのふれあいの場を提供するため、森公園の施設をその利用に供すること (3) 勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、講習会、研修会等の事業を行うこと (4) 多様な里山を育成し、その有する機能を活用して里山に親しむための行事の開催、知識の普及、情報の提供等を行うこと (5) 里山の管理に関する技術の開発、指導等を行うこと (6) 前各号に掲げるもののほか、森公園の目的を達成するために必要な業務					

2 運営体制

運営形態	指定管理者制度						
	指定管理者 指定内容	指定管理者名	(公財)しそう森林王国観光協会		指定の方法	特定の者を指定する施設	
		所在地	県内所在地	宍粟市山崎町中広瀬133-6		特定の者を指定する理由	地域住民等が管理運営に主体的に参画している施設
		主たる事務所					
		指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保		
		導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~				
公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目			
職員数		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	総数	7人	7人	7人	7人	7人	
	うち県外向	人	人	人	人	人	
	正規	人	人	人	人	人	
	その他	7人	7人	7人	7人	7人	
組織図	<p>The organizational chart shows the following structure:</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園事務所 (Park Office) is at the top. Underneath it is the 事務局長 (Office Director), who is connected to the しそう森林王国観光協会 (Shosou Forest Kingdom Tourism Association). Below the Office Director is the 公園長管理責任者 (Park Director Management Responsibility), who oversees three main areas: <ul style="list-style-type: none"> プログラム担当 (Program Manager) for programs and other business plans. 総務担当 (General Affairs Manager) for budget, accounting, staff management, and forest learning track operators. 施設管理担当 (Facility Management Manager) for park maintenance and forest preparation. On the right side, there is a separate box for the 公益財団法人 しそう森林王国観光協会 (指定管理者) (Public Interest Incorporated Association Shosou Forest Kingdom Tourism Association (Designated Manager)), which includes the 理事長、常務理事 (President and Executive Director). A large arrow points from the designated manager box towards the main organizational structure, indicating its role and support. 						

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
支出	29,640	62,000	45,296	35,702	37,425				
人件費	20,846	20,074	21,085	21,212	21,160				
維持管理費	}	}	}	}	}				
事業運営費						8,794	41,926	24,211	14,490
その他									
収入(財源内訳)	29,640	62,000	45,296	35,702	37,425				
県費	一般財源		352						
	使用料収入								
	他(国庫・CSR等)	29,640	61,648	45,296	35,702	37,425			
	計	29,640	62,000	45,296	35,702	37,425			
指定管理者等	利用料金								
	自主事業								
	自主財源								
	計	0	0	0	0	0			

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	26,230 人	39,218 人	23,591 人	30,902 人	39,236 人
対 30 年度比	100.0	149.5	89.9	117.8	149.6

【主な施設の利用状況】

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%
大ホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
			年	
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指 標 名	目 標 [考 え 方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に 関する指標	総利用者数	45,000 (基本協定締結時の目標)	23,591 (2.6 千円)	30,902 (1.5 千円)	39,236 (0.9 千円)	87.2 %
サービス向上に 関する指標	プログラム開催回数 (団体利用を含む)	495.0 (過去3年の平均)	410.0 回	541.0 回	481.0	97.2 %
効率的な運営に 関する指標	利用者一人あたりの経費	1,617 (過去3年の平均)	2,628 円	1,466 円	1,235	76.4 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	<p>「人と森との共生」「都市と山村の交流」という観点も踏まえて整備した施設である。</p> <p>誰でも利用できる森林学習軌道の車窓風景だけでも森林を体感でき、県民に広く親しまれている。また、県内初の森林セラピーに認定され、セラピー基地としても大きな役割を担っている。</p> <p>ボランティアスタッフが公園の運営全般に主体的に関わり、意向が反映される運営を行うとともに、他団体とも連携を深め、多様な主体が公園の事業に参画し、協働で事業を推進している。</p>
有効性	<p>豊かな自然をフィールドとして、公園活動スタッフ(ボランティア)の参画と協働により、森林保全活動や自然観察、レクリエーション、木工教室等の多彩なプログラムを展開するとともに、小・中学校の野外活動等、団体による活動フィールドとしての利用を促進しており、多数の県民の利用を得ている。</p>
効率性	<p>森林学習軌道維持管理に関して他施設よりも経費がかかるが、園内の山間部の散策路整備については、開園以来里山整備に精通したボランティアによる協力で効率のよい管理が行われている。</p> <p>また、プログラム利用者に対するアンケート結果を分析し、ニーズの高いプログラムの実施につなげるなど、集客力の向上に努めている。</p>
民間・市町との役割分担	<p>宍粟市の住民が主体となって地域づくり活動や観光PRに取り組む「しろう森林王国観光協会」が指定管理している。</p> <p>当森公園は市の重要な観光資源として位置づけられており、周辺の公的及び民間施設や市と協働して事業を行っている。</p>
受益と負担の適正化	<p>ボランティアの協力により効率的な園地整備に努めている。県民が自由に里山に親しめる機会を提供する公園であるため、入園料や駐車料は徴収していない。</p> <p>プログラム参加者のみ材料費相当の実費を徴収しており、受益と負担の関係は適正であると判断している。</p>

8 指定管理者制度導入の効果 (※ 直営施設については、導入しない理由)

導入効果等	<p>当団体は開園当初から公園の運営整備に携わり、地域住民との信頼関係を築くことで、効率的な園地管理の実施及びプログラム運営については地元のボランティアの協力を得ることが出来ている。また、当団体は宍粟市の観光振興を行っており、公園を周辺の施設、観光資源と合わせて一体的にPRしている。周辺施設等との連携、交流が行われることで、公園が地域活性化にもつながる施設へと発展している。森公園のコンセプトである県民の参画と協働による森林の保全・創造等が実現されているといえる。</p>
-------	---

9 施設の見直し方針

見直し方針	<p>引き続き、地域住民の参画とボランティアとの協働による里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用等を推進する。</p> <p>また、現在の指定管理期間終了後は、県政改革方針に基づき、公募による指定管理者の選定について、地元関係者等と慎重に検討していく。</p>
見直しの理由・考え方	<p>当公園は、地域住民、ボランティアが深い関わりを持ち、効果的・効率的な施設運営及び事業の実施が実現されてきた。引き続き里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用など、ニーズに即した施設利用を進める。</p> <p>また、今後は利用者サービスのさらなる向上等を図るため、公募による指定管理者の選定について検討を行う必要があるが、県と地元で作り上げた「里山の保全」というコンセプトがあるため、里山の価値を損なうおそれのある開発・整備等を行うは困難であり、地元関係者等と慎重に協議、検討を行う必要がある。</p>

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式 1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	兵庫県立ゆめさきの森公園	施設所管部課室	農林水産部 治山 課		
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	主幹 明神 繁 (職員 脇坂 ちなみ)	内線	(4219)

1 施設概要

設置目的	人々の生活と深く結びつき、多様な自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を育成し、豊かな緑の中で勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るとともに、県民に自然とのふれあいの場を提供する。				
設置根拠	条例名称 兵庫県立ふるさとの森公園の設置及び管理に関する条例 (平成15年7月1日 条例第 51 号)				
所在地等	所在地	姫路市夢前町寺2160-2		設置年月日	平成 15 年 8 月 9 日 (R 5.4現在経過年数 20 年)
	電話番号	079-337-3220		直近の大規模改修年月	年 月
	HP・電子メール	http://www.yumesakinomori.server-shared.com		(R 5.4現在経過年数 99 年)	
敷地面積	敷地面積	0.00 m ²	所有者別 内訳	m ²	県 m ²
				m ²	その他 m ²
施設内容	延床面積 393.13 m ² 【各施設名とその概要】 活動拠点施設、炊事棟、観察デッキ、東屋、野鳥観察小屋、森のステージ、炭焼き小屋				
利用時間	5月～8月:9時～18時、9月～翌年4月:9時～17時				
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)				
利用料金	利用料金制度	無料施設	料金体系		
	名称				
整備費	1,498,145 千円				
	(内訳) 当初整備	施設建築費	782,453 千円	財源内訳	
		用地費	647,575 千円	国庫	千円
		備品費等	6,315 千円	特定	1,436,343 千円
		その他	千円	起債	千円
	大規模改修	改修費	千円	一般	千円
		備品費等	千円	国庫	千円
		その他	千円	特定	千円
	施設拡充	施設拡充等	61,802 千円	起債	千円
		備品費等	千円	国庫	千円
その他		千円	特定	61,802 千円	
業務内容	(1)勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、森公園の施設をその利用に供すること (2)県民に自然とのふれあいの場を提供するため、森公園の施設をその利用に供すること (3)勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、講習会、研修会等の事業を行うこと (4)多様な里山を育成し、その有する機能を活用して里山に親しむための行事の開催、知識の普及、情報の提供等を行うこと (5)里山の管理に関する技術の開発、指導等を行うこと (6)前各号に掲げるもののほか、森公園の目的を達成するために必要な業務				

2 運営体制

運営形態	指定管理者制度						
	指定管理者 指定内容	指定管理者名	ゆめさきの森公園運営協議会		指定の方法	特定の者を指定する施設	
		所在地	県内所在地	姫路市夢前町寺2160-2		特定の者を 指定する理由	地域住民等が管理運営に主体的に参 画している施設
			主たる事務所				
		指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保		
		導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~				
公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目			
職員数		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
	総 数	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人	
	うち県外向	人	人	人	人	人	
	正 規	人	人	人	人	人	
	その他	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人	
組織図	<pre> graph LR A[公園事務所] --- B[公園長兼事務局長] B --- C[総務担当 予算・決算等庶務経理事務等] B --- D[企画担当 プログラムその他の事業企画等] B --- E[森づくり担当 園地の維持管理、森林整備等] F[ゆめさきの森公園運営協議会 (指定管理者)] --> G[会長] </pre>						

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区 分	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
支 出	27,960	43,376	45,233	26,519	28,201	
人件費	16,606	16,748	16,916	19,013	19,013	
維持管理費	} 11,354	} 26,628	} 28,317	} 7,506	} 9,188	
事業運営費						
その他						
収 入(財源内訳)	27,960	43,376	45,233	26,519	28,201	
県 費	一般財源					
	使用料収入					
	他(国庫・CSR等)	27,960	43,376	45,233	26,519	28,201
	計	27,960	43,376	45,233	26,519	28,201
指定管理者 等	利用料金					
	自主事業					
	自主財源					
	計	0	0	0	0	0

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	26,682 人	25,356 人	17,488 人	22,259 人	28,186 人
対 30 年度比	100.0	95.0	65.5	83.4	105.6

【主な施設の利用状況】

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%
大ホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
			年	
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指標名	目 標 [考え方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に関する指標	総利用者数	25,500 (基本協定締結時の目標人数)	17,488 (2.5 千円)	22,259 (2.0 千円)	28,186 (0.9 千円)	110.5 %
サービス向上に関する指標	プログラム開催回数 (団体利用含む)	104.0 (過去3年の平均)	65.0 回	96.0 回	83.0	79.8 %
効率的な運営に関する指標	利用者一人あたりの経費	1,872 (過去3年の平均)	2,480 円	2,032 円	1,363	72.8 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	<p>「人と森との共生」「都市と山村の交流」という観点を踏まえて整備した施設であり、姫路市夢前町寺地区の里山通宝寺池を中心にして、300m前後の山稜に取り囲まれた緑と水が豊かな里山の公園である。</p> <p>ボランティアスタッフが公園の運営全般に主体的に関わり、意向が反映される運営を行うとともに、他団体とも連携を深め、多様な主体が公園の事業に参画し、協働で事業を推進している。</p> <p>近年はコロナ禍によりプログラムイベントの中止縮小等があったが、平日の利用客及び遠方からの利用も増え、新たな客層を獲得している。</p>
有効性	<p>開園前から、地元住民やボランティアの協力を得ながら事業を展開してきた経緯があり、県民の参画と協働の先導的施設である。</p> <p>特に、地域の森公園として親しまれており、地元の人々の有する山林を無償で借り受け、里山づくりのプログラムに供している。また、地元から田畑を借用したことにより、農業体験のプログラムを実施することが可能となっている。</p> <p>また、ボランティアグループが策定した多彩なプログラムにより、学校、青少年団、企業、一般団体等の受け入れを行っており、幅広い年齢層の利用を実現している。</p>
効率性	<p>園内の山間部の散策路整備については、開園以来里山整備に精通したボランティアによる協力で効率のよい管理が行われている。</p> <p>また、公園内の間伐材等をプログラム材料及び燃料として有効活用し、経費削減に努めている。</p>
民間・市町との役割分担	<p>管理・運営については、地元との関係が重要であるため、地元自治会の運営協議会への参画など、協力を得ながら事業を行っている。</p>
受益と負担の適正化	<p>ボランティアの協力により効率的な園地整備に努めている。県民が自由に里山に親しめる機会を提供する公園であるため、入園料や駐車料は徴収していない。</p> <p>プログラム参加者のみ材料費相当の実費を徴収しており、受益と負担の関係は適正であると判断している。</p>

8 指定管理者制度導入の効果（※ 直営施設については、導入しない理由）

導入効果等	<p>当団体は、公園の開園整備に携わった地域住民等で構成された団体であり、現在まで公園の運営整備を行ってきた。地域の実情を熟知している地元団体が運営を行うことで、効率的な園地管理、地元調整が可能である。また、プログラム運営については地元のボランティアの協力を得ることができている。森公園のコンセプトである県民の参画と協働による森林の保全・創造等が実現されているといえる。</p>
-------	---

9 施設の見直し方針

見直し方針	<p>引き続き、地域住民の参画とボランティアとの協働による里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用等を推進する。</p>
見直しの理由・考え方	<p>当公園は、地域住民、ボランティアが深い関わりを持ち、効果的・効率的な施設運営及び事業の実施が実現されてきた。県と地元で作り上げた「里山の保全」というコンセプトがあるため、現在の形状の大幅な変更を伴う開発・整備等を行うことは出来ない。引き続き里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用など、ニーズに即した施設利用を進める。</p>

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式 1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	兵庫県立なか・やちよの森公園	施設所管部課室	農林水産部 治山 課		
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	主幹 明神 繁 (職員 脇坂 ちなみ)	内線	(4219)

1 施設概要

設置目的	人々の生活と深く結びつき、多様な自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を育成し、豊かな緑の中で勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るとともに、県民に自然とのふれあいの場を提供する。					
設置根拠	条例名称 兵庫県立ふるさとの森公園の設置及び管理に関する条例 (平成15年7月1日 条例第 51 号)					
所在地等	所在地	多可郡多可町中区靴屋677-10		設置年月日	平成 15 年 3 月 23 日	
	電話番号	0795-30-0050		(R 5.4現在経過年数)	21 年	
	HP・電子メール	https://www.nakayachiyonomori.com/		直近の大規模改修年月	年 月	
敷地面積	敷地面積	0.00 m ²	所有者別 内訳	m ²	県	
				m ²	その他	
施設内容	延床面積 m ² 【各施設名とその概要】 活動拠点施設(2棟)、東屋、森の休憩所、観察デッキ展望台、ビオトープ池、炊事棟、森の回廊、ツリーハウス、炭焼き窯、木工クラフト広場					
利用時間	通年 9:00~17:00					
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)					
利用料金	利用料金制度	無料施設		料金体系		
	名称					
整備費	1,595,327 千円					
	(内訳)	当初整備	施設建築費	1,204,248 千円		
			用地費	214,804 千円		
			備品費等	6,415 千円		
			その他	千円		
	大規模改修	財源内訳	改修費	千円		
			備品費等	千円		
			その他	千円		
			国庫	千円	起債	千円
	施設拡充	財源内訳	施設拡充等	169,860 千円		
備品費等			千円			
その他			千円			
特定			1,425,467 千円	一般	千円	
業務内容	財源内訳	国庫	千円	起債	千円	
		特定	169,860 千円	一般	千円	
		(1)勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、森公園の施設をその利用に供すること				
		(2)県民に自然とのふれあいの場を提供するため、森公園の施設をその利用に供すること				
(3)勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、講習会、研修会等の事業を行うこと						
(4)多様な里山を育成し、その有する機能を活用して里山に親しむための行事の開催、知識の普及、情報の提供等を行うこと						
(5)里山の管理に関する技術の開発、指導等を行うこと						
(6)前各号に掲げるもののほか、森公園の目的を達成するために必要な業務						

2 運営体制

運営形態	指定管理者制度					
	指定管理者 指定内容	指定管理者名	なか・やちよの森公園協会		指定の方法	特定の者を指定する施設
		所在地	県内所在地	多可郡多可町中区靴屋677-10	特定の者を指定する理由	地域住民等が管理運営に主体的に参画している施設
		主たる事務所				
		指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保	
		導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~			
公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目		
職員数		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総数	7人	7人	7人	7人	7人
	うち県外向	人	人	人	人	人
	正規	人	人	人	人	人
	その他	7人	7人	7人	7人	7人
組織図	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>公園事務所</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">運営協議会</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">公園長兼運営事務局長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> 総務担当 予算・決算等庶務経理事務等 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> 企画担当 プログラムその他の事業企画等 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> 森づくり担当 園地の維持管理、森林整備等 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> なか・やちよの森公園協会 (指定管理者) 会長 </div> <div style="font-size: 2em;">←</div> </div> </div>					

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
支出	26,413	29,921	35,561	28,626	29,106	
人件費	15,753	18,920	16,945	18,232	18,540	
維持管理費	} 10,660	} 11,001	} 18,616	} 10,394	} 10,566	
事業運営費						
その他						
収入(財源内訳)	26,413	29,921	35,561	28,626	29,106	
県費	一般財源	495				
	使用料収入					
	他(国庫・CSR等)	26,413	29,426	35,561	28,626	29,106
	計	26,413	29,921	35,561	28,626	29,106
指定管理者等	利用料金					
	自主事業					
	自主財源					
	計	0	0	0	0	0

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	17,295 人	14,551 人	12,557 人	15,497 人	23,709 人
対 30 年度比	100.0	84.1	72.6	89.6	137.1

【主な施設の利用状況】

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%
大ホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
			年	
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指 標 名	目 標 [考 え 方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に 関する指標	総利用者数	20,000 (基本協定締結時の目標人数)	12,557 (2.4 千円)	15,497 (2.3 千円)	23,709 (1.2 千円)	118.5 %
サービス向上に 関する指標	プログラム開催回数 (団体利用含む)	149.0 (過去3年の平均)	139.0 回	129.0 回	247.0 回	165.8 %
効率的な運営に 関する指標	利用者一人あたりの経費	2,164 (過去3年の平均)	2,383 円	2,295 円	1,564 円	72.3 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	<p>「人と森との共生」「都市と山村の交流」という観点も踏まえて整備した施設であり、竹谷川沿いの森林や翠明湖、北播磨の山並みが一望できる豊かな自然の中に位置している。</p> <p>ボランティアスタッフが公園の運営全般に主体的に関わり、意向が反映される運営を行うとともに、他団体とも連携を深め、多様な主体が公園の事業に参画し、協働で事業を推進している。</p> <p>近年はコロナ禍によりプログラムイベントの中止縮小等があったが、平日の利用客及び遠方からの利用も増え、新たな客層を獲得している。</p>
有効性	<p>開園前から、地元住民やボランティアの協力を得ながら事業を展開してきた経緯があり、県民の参画と協働の先導的施設である。</p> <p>地元の人々の有する山林を無償で借り受け、里山づくりのプログラムに供しており、春と秋の里山ふれあいまつりは当公園の基幹行事である。(コロナ禍で中止が続いている)</p>
効率性	<p>園内の山間部の散策路整備については、開園以来里山整備に精通したボランティアによる協力で効率のよい管理が行われている。</p> <p>また、プログラム利用者に対するアンケート結果を分析し、客力の向上とコストの削減に努めている。</p>
民間・市町との役割分担	<p>多可町に事務局を置く「なか・やちよの森公園協会」が指定管理者になり、その管理・運営の主要部分を行政、地域団体、小・中学校、ボランティア等の代表で構成される運営協議会により行われている。</p> <p>また、当森公園を地域における観光資源として位置づけ、周辺の公的及び民間施設や市町と協働して事業を行っている。</p>
受益と負担の適正化	<p>ボランティアの協力により効率的な園地整備に努めている。県民が自由に里山に親しめる機会を提供する公園であるため、入園料や駐車料は徴収していない。</p> <p>プログラム参加者のみ材料費相当の実費を徴収しており、受益と負担の関係は適正であると判断している。</p>

8 指定管理者制度導入の効果 (※ 直営施設については、導入しない理由)

導入効果等	<p>当団体は、公園の開園整備に携わった地元自治体(中町・八千代町)及び地元自治会から構成された団体であり、現在まで公園の運営整備を行ってきた。地域の実情を熟知している地元団体が運営を行うことで、効率的な園地管理、地元調整が可能である。現在は、多可町観光協会との連携を図り、観光協会のレンタサイクル事業のフィールドとして公園を活用しており、新規来園者の獲得にもつなげている。森公園のコンセプトである県民の参画と協働による森林の保全・創造等が実現されているといえる。</p>
-------	--

9 施設の見直し方針

見直し方針	<p>引き続き、地域住民の参画とボランティアとの協働による里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用等を推進する。</p>
見直しの理由・考え方	<p>当公園は、地域住民、ボランティアが深い関わりを持ち、効果的・効率的な施設運営及び事業の実施が実現されてきた。県と地元で作り上げた「里山の保全」というコンセプトがあるため、現在の形状の大幅な変更を伴う開発・整備等を行うことは出来ない。引き続き里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用など、ニーズに即した施設利用を進める。</p>

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式 1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	兵庫県立ささやまの森公園	施設所管部課室	農林水産部 治山 課		
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	主幹 (職員	明神 繁 脇坂 ちなみ)	内線

1 施設概要

設置目的	人々の生活と深く結びつき、多様な自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を育成し、豊かな緑の中で勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るとともに、県民に自然とのふれあいの場を提供する。					
設置根拠	条例名称 兵庫県立ふるさとの森公園の設置及び管理に関する条例 (平成15年7月1日 条例第 51 号)					
所在地等	所在地	丹波篠山市川原511-1		設置年月日	平成 14 年 7 月 21 日	
	電話番号	079-557-0045		(R 5.4現在経過年数)	21 年)	
	HP・電子メール	http://www.sasayamanomori.jp/		直近の大規模改修年月	年 月	
敷地面積	敷地面積	0.00 m ²	所有者別 内訳	m ²	県	
				m ²	その他	
施設内容	延床面積 401.17 m ² 【各施設名とその概要】 活動拠点施設、森の道場、炊事棟、作業小屋、観察デッキ、ビオトープ池、東屋、水辺の広場、炭焼き窯、野鳥観察小屋					
利用時間	通年9時～17時15分					
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)					
利用料金	利用料金制度	無料施設		料金体系		
	名称					
整備費	1,489,503 千円					
	(内訳)	当初 整備	施設建築費	699,619 千円		
			用地費	595,608 千円		
			備品費等	6,476 千円		
			その他	千円		
	大規模 改修	財源内訳	改修費	千円		
			備品費等	千円		
			その他	千円		
			国庫	千円	起債	千円
	施設 拡充	財源内訳	特定	1,301,703 千円	一般	千円
施設拡充等			187,800 千円			
備品費等			千円			
国庫			千円	起債	千円	
			特定	187,800 千円	一般	千円
業務内容	<p>(1) 勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、森公園の施設をその利用に供すること</p> <p>(2) 県民に自然とのふれあいの場を提供するため、森公園の施設をその利用に供すること</p> <p>(3) 勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、講習会、研修会等の事業を行うこと</p> <p>(4) 多様な里山を育成し、その有する機能を活用して里山に親しむための行事の開催、知識の普及、情報の提供等を行うこと</p> <p>(5) 里山の管理に関する技術の開発、指導等を行うこと</p> <p>(6) 前各号に掲げるもののほか、森公園の目的を達成するために必要な業務</p>					

2 運営体制

運営形態	指定管理者制度						
	指定管理者 指定内容	指定管理者名	公益財団法人兵庫丹波の森協会		指定の方法	特定の者を指定する施設	
		所在地	県内所在地	丹波市柏原町柏原5600		特定の者を指定する理由	地域住民等が管理運営に主体的に参画している施設
		主たる事務所					
		指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保		
		導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~				
公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目			
職員数		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
	総 数	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人	
	うち県外向	人	人	人	人	人	
	正 規	人	人	人	人	人	
	その他	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人	
組織図	<p>公園事務所</p> <p>公園長 管理責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> 総務担当 予算・決算等庶務経理事務等 企画担当 プログラムその他の事業企画等 森づくり担当 園地の維持管理、森林整備等 <p>公益財団法人兵庫丹波の森協会 (指定管理者)</p> <p>理事長、会長</p>						

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区 分	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
支 出	24,461	36,158	33,263	24,729	25,249	
人件費	15,166	14,028	13,978	16,538	17,964	
維持管理費	} 9,295	} 22,130	} 19,285	} 8,191	} 7,285	
事業運営費						
その他						
収 入(財源内訳)	24,461	36,158	33,263	24,729	25,249	
県 費	一般財源	1,743	1,050			
	使用料収入					
	他(国庫・CSR等)	24,461	34,415	32,213	24,729	25,249
	計	24,461	36,158	33,263	24,729	25,249
指定管理者等	利用料金					
	自主事業					
	自主財源					
	計	0	0	0	0	0

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	13,943 人	17,377 人	16,603 人	25,128 人	21,725 人
対 30 年度比	100.0	124.6	119.1	180.2	155.8

【主な施設の利用状況】

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%
大ホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
			年	
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指標名	目標 [考え方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に関する指標	総利用者数	20,000 (基本協定締結時の目標人数)	16,603 (2.2 千円)	25,128 (1.3 千円)	21,725 (1.1 千円)	108.6 %
サービス向上に関する指標	プログラム開催回数 (団体利用含む)	120.0 (過去3年の平均)	84.0	139.0	112.0	93.3 %
効率的な運営に関する指標	利用者一人あたりの経費	1,637 (過去3年の平均)	2,178	1,324	1,642	100.3 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	<p>「人と森との共生」「都市と山村の交流」という観点も踏まえて整備した施設である。</p> <p>園内には、希少な野鳥や環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されている植物も生育しており、動植物観察やバードウォッチングのフィールドとして活用されている。</p> <p>ボランティアスタッフが公園の運営全般に主体的に関わり、意向が反映される運営を行うとともに、他団体とも連携を深め、多様な主体が公園の事業に参画し、協働で事業を推進している。</p> <p>コロナ禍で自然の中で過ごしたいとニーズが高まり、家族連れや都市部からの利用が大幅に増えている。</p>
有効性	<p>開園前から、地元住民やボランティアの協力を得ながら事業を展開してきた経緯があり、県民の参画と協働の先導的施設である。特に、地元住民が所有する山林を無償で借受、里山づくりのプログラムのフィールドとして来園者の利用に供している。草木染め、バードウォッチング、調理体験等のプログラムが来園者から好評である。</p>
効率性	<p>園内の山間部の散策路整備については、開園以来里山整備に精通したボランティアによる協力で効率のよい管理が行われている。</p> <p>また、無料メディアの有効活用による公園のPRや、アンケートの結果分析を踏まえた集客力の向上に努めている。</p>
民間・市町との役割分担	<p>ささやまの森公園は、丹波地域の住民で提案された「丹波の森構想」(人と自然、文化、産業の調和した地域づくりを住民、事業者、行政が一体となり推進する)を実現するための一施設として重要な役割を担っている。</p>
受益と負担の適正化	<p>ボランティアの協力により効率的な園地整備に努めている。県民が自由に里山に親しめる機会を提供する公園であるため、入園料や駐車料は徴収していない。</p> <p>プログラム参加者のみ材料費相当の実費を徴収しており、受益と負担の関係は適正であると判断している。</p>

8 指定管理者制度導入の効果 (※ 直営施設については、導入しない理由)

導入効果等	<p>当団体は、「丹波の森構想」に基づき、人と自然と文化、産業の調和した地域づくりを推進している。公園の開園整備の段階から携わってきた団体であり、現在は通常の維持管理に加え、森構想の拠点施設として活用を行い、里山保全だけでなく、地域への発展にも寄与する施設として発展させている。園地管理及びプログラム運営については地元のボランティアの協力を得て、効率的かつ創意工夫を施した取組むことが出来ており、森公園のコンセプトである県民の参画と協働による森林の保全・創造等が実現されているといえる。</p>
-------	---

9 施設の見直し方針

見直し方針	<p>引き続き、地域住民の参画とボランティアとの協働による里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用等を推進する。</p>
見直しの理由・考え方	<p>当公園は、地域住民、ボランティアが深い関わりを持ち、効果的・効率的な施設運営及び事業の実施が実現されてきた。県と地元で作り上げた「里山の保全」というコンセプトがあるため、現在の形状の大幅な変更を伴う開発・整備等を行うことは出来ない。引き続き里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用など、ニーズに即した施設利用を進める。</p>

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	兵庫県立やしらの森公園	施設所管部課室	農林水産部 治山 課		
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	主幹 明神 繁 (職員 脇坂 ちなみ)	内線	(4219)

1 施設概要

設置目的	人々の生活と深く結びつき、多様な自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を育成し、豊かな緑の中で勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るとともに、県民に自然とのふれあいの場を提供する。				
設置根拠	条例名称 兵庫県立ふるさとの森公園の設置及び管理に関する条例 (平成15年7月1日 条例第 51 号)				
所在地等	所在地	加東市上久米1081-3		設置年月日	平成 12 年 7 月 22 日
	電話番号	0795-44-1510		(R 5.4現在経過年数)	23 年
	HP・電子メール	http://yashironomori.com/		直近の大規模改修年月	年 月
敷地面積	敷地面積	0.00 m ²	所有者別内訳	m ²	県 m ²
				m ²	その他 m ²
施設内容	延床面積 474.39 m ² 【各施設名とその概要】 活動拠点施設、母屋、納屋、炊事棟、東屋(6棟)、炭焼き窯、ため池観察デッキ、みのりの広場(多目的広場)				
利用時間	通年 9:00~17:00				
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)				
利用料金	利用料金制度	無料施設	料金体系		
	名称				
整備費	1,154,751 千円				
	(内訳) 当初整備	施設建築費	820,030 千円	財源内訳	
		用地費	103,993 千円	国庫	千円
		備品費等	6,947 千円	特定	930,970 千円
		その他	千円	起債	千円
	大規模改修	改修費	千円	一般	千円
		備品費等	千円	国庫	千円
		その他	千円	特定	千円
	施設拡充	施設拡充等	223,781 千円	起債	千円
		備品費等	千円	国庫	千円
その他		千円	特定	223,781 千円	
業務内容	(1) 勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、森公園の施設をその利用に供すること (2) 県民に自然とのふれあいの場を提供するため、森公園の施設をその利用に供すること (3) 勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、講習会、研修会等の事業を行うこと (4) 多様な里山を育成し、その有する機能を活用して里山に親しむための行事の開催、知識の普及、情報の提供等を行うこと (5) 里山の管理に関する技術の開発、指導等を行うこと (6) 前各号に掲げるもののほか、森公園の目的を達成するために必要な業務				

2 運営体制

運営形態	指定管理者制度						
	指定管理者 指定内容	指定管理者名	やしろの森公園協会		指定の方法	特定の者を指定する施設	
		所在地	県内所在地	加東市上久米1081-3		特定の者を 指定する理由	地域住民等が管理運営に主体的に参 画している施設
			主たる事務所				
		指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保		
		導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~				
公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目			
職員数		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
	総 数	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人	
	うち県外向	人	人	人	人	人	
	正 規	人	人	人	人	人	
	その他	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人	
組織図	<pre> graph LR A[やしろの森公園協会 (指定管理者) 理事長、会長] --> B[公園長 管理責任者] B --> C[公園事務所] C --> D[総務担当 予算・決算等庶務経理事務等] C --> E[企画担当 プログラムその他の事業企画等] C --> F[森づくり担当 園地の維持管理、森林整備等] </pre>						

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区 分	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
支 出	26,522	48,942	55,218	26,488	28,952	
人件費	17,124	16,957	17,200	17,200	17,332	
維持管理費	} 9,398	} 31,985	} 38,018	} 9,288	} 11,620	
事業運営費						
その他						
収 入(財源内訳)	26,522	48,942	55,218	26,488	28,952	
県 費	一般財源	649	1,141			
	使用料収入					
	他(国庫・CSR等)	26,522	48,293	54,077	26,488	28,952
	計	26,522	48,942	55,218	26,488	28,952
指定管理者 等	利用料金					
	自主事業					
	自主財源					
	計	0	0	0	0	0

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	31,362 人	31,858 人	23,341 人	27,555 人	31,184 人
対 30 年度比	100.0	101.6	74.4	87.9	99.4

【主な施設の利用状況】

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%
大ホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
			年	
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指 標 名	目 標 [考 え 方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に 関する指標	総利用者数	31,000 (基本協定締結時の目標人数)	23,341 (2.1 千円)	27,555 (2.0 千円)	31,184 (0.8 千円)	100.6 %
サービス向上に 関する指標	プログラム開催回数 (団体利用含む)	332.0 (過去3年の平均)	263.0 回	330.0 回	357.0	107.5 %
効率的な運営に 関する指標	利用者一人あたりの経費	1,645 (過去3年の平均)	2,097 円	2,004 円	1,352	82.2 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	<p>「人と森との共生」「都市と山村の交流」という観点も踏まえて整備した施設である。</p> <p>田畑面積が広く、良質な農作物が収穫できる利点を活かし、農作業、調理等多様なプログラムを実施しており、多くの参加者の評価を得ている。</p> <p>ボランティアスタッフが公園の運営全般に主体的に関わり、意向が反映される運営を行うとともに、他団体とも連携を深め、多様な主体が公園の事業に参画し、協働で事業を推進している。</p> <p>近年はコロナ禍によりプログラムイベントの中止縮小等があったが、平日の利用客及び遠方からの利用も増え、新たな客層を獲得している。</p>
有効性	<p>開園前から、地元住民やボランティアの協力を得ながら事業を展開してきた経緯があり、県民の参画と協働の先導的施設である。</p> <p>水に親しめる水辺ゾーンの整備、湿地植物が身近に観察できるふれあいゾーン的环境づくり、さらには歩きやすい遊歩道の整備等を進めることにより、誰もが参加しやすい里山づくりや里山活動、自然体験等の機会を提供している。</p> <p>また、小学校の環境体験事業を受け入れる一方、活動スタッフとしての参画につながる取組として、大人向けのプログラムを実施しており幅広い年齢層の利用を実現している。</p>
効率性	<p>施設の管理運営は、ボランティアによる部分が多く、特に毎月第2、第4土曜日を活動スタッフ全体の作業日「森の日の日」と定め、森林整備、観察会等を実施している。</p> <p>また、プログラム利用者に対するアンケート結果を分析し、客力の向上とコストの削減に努めよりている。そのほか、応援団や友の会から一定額の会費を徴収している。</p>
民間・市町との役割分担	<p>管理・運営については、地元との関係が重要であるため、地元自治会の運営協議会への参画など、協力を得ながら事業を行っている。</p> <p>また、県が推進する「企業の森づくり」活動地等として多くの企業と協働している。</p>
受益と負担の適正化	<p>ボランティアの協力により効率的な園地整備に努めている。県民が自由に里山に親しめる機会を提供する公園であるため、入園料や駐車料は徴収していない。</p> <p>プログラム参加者のみ材料費相当の実費を徴収しており、受益と負担の関係は適正であると判断している。</p>

8 指定管理者制度導入の効果（※ 直営施設については、導入しない理由）

導入効果等	<p>当団体は、公園の開園整備に携わった地域住民等で構成された団体であり、現在まで地域との信頼関係を築きながら、公園の運営整備を行ってきた。地域の子供や学生の利用も積極的に受入れており（「森のようちえん」の保育フィールドとしての利用、兵庫教育大学の学生ボランティア）、公園の発展につなげている。森公園のコンセプトである県民の参画と協働による森林の保全・創造等が実現されているといえる。</p>
-------	--

9 施設の見直し方針

見直し方針	<p>引き続き、地域住民の参画とボランティアとの協働による里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用等を推進する。</p>
見直しの理由・考え方	<p>当公園は、地域住民、ボランティアが深い関わりを持ち、効果的・効率的な施設運営及び事業の実施が実現されてきた。県と地元で作り上げた「里山の保全」というコンセプトがあるため、現在の形状の大幅な変更を伴う開発・整備等を行うことは出来ない。引き続き里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用など、ニーズに即した施設利用を進める。</p>

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	兵庫県立宝塚西谷の森公園	施設所管部課室	農林水産部 治山 課		
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	主幹 (職員	明神 繁 脇坂 ちなみ)	内線

1 施設概要

設置目的	人々の生活と深く結びつき、多様な自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を育成し、豊かな緑の中で勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るとともに、県民に自然とのふれあいの場を提供する。					
設置根拠	条例名称 兵庫県立ふるさとの森公園の設置及び管理に関する条例 (平成15年7月1日 条例第 51 号)					
所在地等	所在地	宝塚市境野字保与谷14-1		設置年月日	平成 20 年 7 月 27 日	
	電話番号	0797-91-1630		(R 5.4現在経過年数)	15 年)	
	HP・電子メール	http://nishitaninomori.jp/		直近の大規模改修年月	年 月	
敷地面積	敷地面積	0.00 m ²	所有者別 内訳	m ²	県	
				m ²	その他	
施設内容	延床面積 637.19 m ² 【各施設名とその概要】 活動拠点施設、農舎、展望台、東屋、倉庫、ガラス温室、パイプ温室、観察デッキ					
利用時間	4月～9月:9時～18時、10月～翌年3月:9時～17時					
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)					
利用料金	利用料金制度	無料施設		料金体系		
	名称					
整備費	6,364,886 千円					
	(内訳)	当初 整備	施設建築費	478,788 千円		
			用地費	5,886,098 千円		
			備品費等	千円		
			その他	千円		
	大規模 改修	財源内訳	改修費	千円		
			備品費等	千円		
			その他	千円		
			国庫	千円	起債	千円
	施設 拡充	財源内訳	施設拡充等	千円		
備品費等			千円			
その他			千円			
特定			6,364,886 千円	一般	千円	
業務内容	(1)勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、森公園の施設をその利用に供すること					
	(2)県民に自然とのふれあいの場を提供するため、森公園の施設をその利用に供すること					
	(3)勤労者の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図るため、講習会、研修会等の事業を行うこと					
	(4)多様な里山を育成し、その有する機能を活用して里山に親しむための行事の開催、知識の普及、情報の提供等を行うこと					
	(5)里山の管理に関する技術の開発、指導等を行うこと					
	(6)前各号に掲げるもののほか、森公園の目的を達成するために必要な業務					

2 運営体制

運営形態	指定管理者制度					
	指定管理者 指定内容	指定管理者名	特定非営利活動法人 宝塚NISITANI		指定の方法	特定の者を指定する施設
		所在地	県内所在地	宝塚市大原野炭屋1番1	特定の者を 指定する理由	地域住民等が管理運営に主体的に参 画している施設
		主たる事務所				
		指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保	
		導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~			
公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目		
職員数		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	総 数	7 人	7 人	7 人	7 人	11 人
	うち県外向	人	人	人	人	人
	正 規	人	人	人	人	人
	その他	7 人	7 人	7 人	7 人	11 人
組織図						

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区 分	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支 出	30,197	30,460	43,165	29,360	30,014
人件費	18,327	18,130	17,618	18,413	18,413
維持管理費	} 11,870	} 12,330	} 25,547	} 10,947	} 11,601
事業運営費					
その他					
収 入(財源内訳)	30,197	30,460	43,165	29,360	0
県 費	一般財源	1,123			
	使用料収入				
	他(国庫・CSR等)	30,197	29,337	43,165	29,360
	計	30,197	30,460	43,165	29,360
指定管理者 等	利用料金				
	自主事業				
	自主財源				
	計	0	0	0	0

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	36,694 人	40,632 人	38,484 人	37,029 人	37,078 人
対 30 年度比	100.0	110.7	104.9	100.9	101.0

【主な施設の利用状況】

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%
大ホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
			年	
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指 標 名	目 標 [考 え 方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に 関する指標	総利用者数	40,000 〔基本協定締結時の目標〕	38,484 (0.8 千円)	37,029 (1.2 千円)	37,078 (0.8 千円)	92.7 %
サービス向上に 関する指標	プログラム開催回数 (団体利用含む)	99.0 〔過去3年の平均〕	86.0 回	85.0 回	127.0	128.3 %
効率的な運営に 関する指標	利用者一人あたりの経費	900 〔過去3年の平均〕	791 円	1,166 円	917	101.9 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	<p>「人と森との共生」「都市と山村との交流」という観点も踏まえて整備した施設である。</p> <p>ボランティアスタッフが公園の運営全般に主体的に関わり、意向が反映される運営を行うとともに、他団体とも連携を深め、多様な主体が公園の事業に参画し、協働で事業を推進している。</p> <p>森公園のなかでも都市部からのアクセスがもっともよく、プログラムは常に満員状態である。コロナ禍で家族連れ等、新規の利用者を獲得した。</p> <p>当森公園を地域の観光資源として地域住民の参画により、都市住民との交流、世代間交流を実現し、地域産業の活性化を目指している。</p>
有効性	<p>開園前から地元協力やボランティアの協力を得ながら先行的な保全活動や事業展開を行ってきた経緯があり、県民の参画と協働の先導的施設である。当森公園は都市部に近いにもかかわらず、農村と一体になった里山環境が残されていることから、農業体験や地元講師による料理教室などのプログラムを実施することが可能となっている。</p>
効率性	<p>園内の山間部の散策路整備については、開園以来里山整備に精通したボランティアによる協力で効率のよい管理が行われている。</p> <p>また、公園内の資源を有効活用したプログラム実施や、公園PRについて無料メディアを有効活用するなど経費削減に努めている。</p>
民間・市町との役割分担	<p>地域住民や関係団体等で構成する運営協議会などの団体により立ち上げた「特定非営利活動法人宝塚NISITANI」を指定管理者に指定することにより、地域住民、地域関係団体、ボランティア等からなる住民主導の管理運営体制を構築している。</p>
受益と負担の適正化	<p>ボランティアの協力により効率的な園地整備に努めている。県民が自由に里山に親しめる機会を提供する公園であるため、入園料や駐車料は徴収していない。</p> <p>プログラム参加者のみ材料費相当の実費を徴収しており、受益と負担の関係は適正であると判断している。</p>

8 指定管理者制度導入の効果（※ 直営施設については、導入しない理由）

導入効果等	<p>当団体は、地元の自治会等で構成されており、開園当初から現在まで地域住民との信頼関係を築いてきた。公園の他にも市内の施設の指定管理を行っており、ノウハウを活かしながら、地域住民との調整に努め、効率的な園地管理を行っている。プログラム運営については地元のボランティアの協力を得て、効率的かつ創意工夫を施した取組むことが出来ている。森公園のコンセプトである県民の参画と協働による森林の保全・創造等が実現されているといえる。</p>
-------	---

9 施設の見直し方針

見直し方針	<p>引き続き、地域住民の参画とボランティアとの協働による里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用等を推進する。</p>
見直しの理由・考え方	<p>当公園は、地域住民、ボランティアが深い関わりを持ち、効果的・効率的な施設運営及び事業の実施が実現されてきた。県と地元で作り上げた「里山の保全」というコンセプトがあるため、現在の形状の大幅な変更を伴う開発・整備等を行うことは出来ない。引き続き里山保全活動の実施、環境学習のフィールドとしての活用など、ニーズに即した施設利用を進める。</p>

公的施設等運営評価調査
(令和 4 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度	令和 4 年度
状況調査基準年月日	令和5年4月1日

施設名	兵庫県立三木山森林公園	施設所管部課室	農林水産部 治山 課		
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	主幹 (職員	明神 繁 脇坂 ちなみ)	内線

1 施設概要

設置目的	多様な森林を育成し、豊かな緑の中で勤労者をはじめ広く県民の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図り、もって人と森林とのふれあいを深めるため。							
設置根拠	条例名称 兵庫県立三木山森林公園の設置及び管理に関する条例 (平成5年3月29日 条例第 14 号)							
所在地等	所在地	三木市福井字三木山2465-1		設置年月日	平成 5 年 5 月 23 日			
	電話番号	0794-83-6100		(R 5 .4現在経過年数	30 年)			
	HP・電子メール	https://mikiyama.net/		直近の大規模改修年月	年 月			
敷地面積	敷地面積	0.00 m ²	所有者別 内訳	m ²	県			
				m ²	その他			
施設内容	延床面積 4,701.00 m ² 【各施設名とその概要】 森の文化館(総合受付、音楽ホール、会議室、レストラン) 森のクラフト館(木工工作室(貸切利用可)、木工資材販売) 森の研修館(研修室、会議室、緑化相談室、事務室) 茶室、森のバーベキュー広場、森の小劇場(屋外イベント施設)							
利用時間	9:00～21:00							
休館日	水曜日(祝日に当たるときはその翌日)、年末年始							
利用料金	利用料金制度	無料施設	料金体系	別紙記載のとおり(別途電子データで送付)				
	名称	修室、会議室、茶室、工						
整備費	7,089,494 千円							
	(内訳)	当初 整備	施設建築費	1,539,201 千円	財源内訳			
			用地費	5,479,413 千円	国庫	千円	起債	6,534,000 千円
			備品費等	70,880 千円	特定	555,494 千円	一般	千円
			その他	千円				
	大規模 改修	改修費	千円	財源内訳				
		備品費等	千円	国庫	千円	起債	千円	
		その他	千円	特定	千円	一般	千円	
	施設 拡充	施設拡充等	千円	財源内訳				
		備品費等	千円	国庫	千円	起債	千円	
その他		千円	特定	千円	一般	千円		
業務内容	(1) 文化活動及びレクリエーション活動のために施設を利用させること。 (2) 文化活動及びレクリエーション活動を促進するため、講習会、研修会、展示会等の事業を行うこと。 (3) 文化活動及びレクリエーション活動を促進するため、音楽、演劇、舞踊等に関する鑑賞会等を開催すること。 (4) 多様な森林を育成すること。 (5) 森林に関する知識の普及及び緑化に関する指導を行うこと。 (6) 森林に関する資料の収集及び情報の提供を行うこと。 (7) 前各号に掲げるもののほか、森林公園の目的を達成するために必要な業務							

2 運営体制

運営形態		指定管理者制度					
		指定管理者名	公益社団法人ひょうご農林機構		指定の方法		
指定管理者 指定内容	所在地	県内所在地	神戸市中央区下山手通5丁目7-18		特定の者を 指定する理由		
		主たる事務所					
	指定管理期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日			履行保証保険の付保		
	導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~					
	公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目		
職員数		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		総数	15人	15人	15人	15人	15人
		うち県外向	人	人	人	人	人
		正規	4人	4人	4人	4人	4人
		その他	11人	11人	11人	11人	11人
組織図		<pre> graph TD A[所長(非常勤嘱託)] --- B[管理運営課長(プロパー1)] A --- C[チーフコーディネーター 生物多様性担当] B --- D[管理担当(プロパー1)] B --- E[管理運営担当(常勤嘱託4, 非常勤嘱託1, 日々雇2)] C --- F[企画運営担当(プロパー1)] C --- G[森林づくり樹木管理担当 園内管理現場担当] </pre>					

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
支出	125,233	123,556	120,082	120,256	120,208					
人件費	59,349	58,715	61,665	66,176	66,176					
維持管理費	}	}	}	}	}					
事業運営費						65,884	64,841	58,417	54,080	54,032
その他										
収入(財源内訳)	125,238	124,507	120,168	120,256	120,208					
県費	一般財源	1,692	3,574	54						
	使用料収入	950	950							
	他(国庫・CSR等)	107,510	110,166	108,086	108,289	108,241				
	計	110,152	114,690	108,140	108,289	108,241				
指定管理者等	利用料金	4,484	2,960	4,554	3,500	3,500				
	自主事業	10,602	6,857	7,474	8,467	8,467				
	自主財源									
	計	15,086	9,817	12,028	11,967	11,967				

※ 令和5年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円、5年度:8,412千円]

4 利用状況

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	565,491 人	572,703 人	513,412 人	577,361 人	568,002 人
対 30 年度比	100.0	101.3	90.8	102.1	100.4

【主な施設の利用状況】

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
音楽ホール					
利用者数	20,196 人	16,296 人	5,361 人	8,917 人	14,135 人
稼働率	48 %	46 %	27 %	40 %	63 %
地元利用率	23 %	25 %	12 %	15 %	29 %
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	%	%	%	%	%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
神戸市立森林植物園	神戸市	神戸市	昭和 32 年	芝生広場、スポーツ広場、植物園、散策路等
姫路市自然観察の森	姫路市	姫路市	昭和 62 年	ネイチャーセンター、休憩広場、観察路等
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指標名	目 標 [考え方]	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成度
設置目的に 関する指標	総利用者数	600,000 〔実施計画書の目標〕	513,412 (0.2 千円)	577,361 (0.2 千円)	568,002 (0.2 千円)	94.7 %
サービス向上に 関する指標	利用料金収入	3,500.0 〔収支計画額〕	2,960	4,554	4,773.0	136.4 %
効率的な運営に 関する指標	光熱水費	12,870 〔収支計画額〕	11,469	13,499	17,177	133.5 %
その他						%

※ ()書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和4年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	気軽に森林と触れあえるとともに、青少年の健全な野外活動をはじめ、県民のだれもが豊かな自然に囲まれ心身ともにリフレッシュできる森づくりをめざす施設として、入場者数は、当初想定(約25万人)を大幅に上回る数(約60万人)を確保しており、引き続き施設を運営する必要がある。
有効性	利用者は全県にわたっており、全県CSR(文化・スポーツ・レクリエーション)施設としての役割を担っている。また、利用者は、散策、レクリエーション、自然観察、各種利用・体験であり、家族連れ、グループが多く見られる他、リピーターが多くなっており、利用者の満足を得ている。
効率性	超長期にわたる多様な森づくりを進めるため、5年ごとに作成する「森林づくり施業計画書」に基づき、効率的な森林管理を「ひょうご森の倶楽部」等のボランティア組織と連携して実施している。また、園内の森林や施設を活用した各種イベントも、当ボランティア組織と連携し、効率的に実施している。
民間・市町との役割分担	県民の文化・レクリエーション活動の場を提供するだけでなく、多様な森林の育成や森林に関する知識の普及など、本県の森林・林業施策に対する県民の理解を深める役割も果たしている。また、より地域に密着した「参画と協働」の舞台にふさわしい公園づくりを推進するため、地元市の運営協議会への参画などの協力を得ながら事業を行っている。
受益と負担の適正化	県民が気軽に森林と触れあえる施設であることから、入園料は無料としている。森の中での文化的活動を行うための音楽ホールや会議室、森のクラフト館(工作室)は、有料としており、その利用料金は、利用者の増加を図る観点から、平成16年度にそれまでの約半額に見直した。また、平成22年度から供用を開始した展示室についても利用料金を徴収している。利用者を引き続き増やすため、現行の額を維持することが適切である。なお、平成26年4月に消費税及び地方消費税の税率の改定に伴い、利用料金を改正した。

8 指定管理者制度導入の効果 (※ 直営施設については、導入しない理由)

導入効果等	小学校の課外活動や企業の福利厚生事業(自然体験活動等)を受入れたほか、レストランとの共催イベントの実施等、新たなイベントの企画・実施に取り組んでいる。
-------	---

9 施設の見直し方針

見直し方針	今後とも、公募により指定管理者を選定する。
見直しの理由・考え方	引き続き公募により指定管理者を選定し、県民サービスの向上と運営の合理化・効率化を図る。